



令和 3 年度 施策評価表

施策	0304 青少年の健全育成	施策担当部	教育委員会	部長	吉村 武史
		施策担当課	社会教育課	課長	前田 勝盛
施策の方針	地域ぐるみで子育てができるよう、家庭・学校・地域の連携や相談機能の強化を図る。また、青少年の団体活動や子供会活動を促進する。				
関連するSDGsのゴール	 				

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 青少年健全育成協議会の主催行事への年間参加者数	人	14,148	15,800 14,117	15,850 14,092	15,900 14,860	15,950 15,478	16,000 5,258	32.9%	32.9%
② 補導活動への年間延べ参加者数	人	859	890 920	920 1,170	950 1,653	980 1,539	1,000 864	86.4%	86.4%
③ 家庭教育に関する年間相談件数	件	9,929	11,300 11,582	11,500 13,032	11,700 11,845	11,900 12,436	12,000 14,405	120.0%	120.0%
④ 子ども会加入率	%	23	23 20	24 19	25 17.9	25 17.0	25 14.7	58.8%	58.8%
⑤									

施策達成状況の説明

①市健全協及び各地区健全協の行事や会議等が中止となり、目標値に届かなかった。しかし、年度後半は新型コロナウイルスの感染対策を講じて実施できた行事や会議もあった。
 ②花火大会・夏越まつり特別補導が中止となったため補導活動への年間延べ参加者数は減少した。また、新型コロナの感染が急増した時期に定期補導を中止したことも参加者減につながった。しかし、補導委員の定期補導参加率は前年度より上昇している。
 ③不登校や家庭での子育てに関する相談が増加している。
 ④子ども会の加入率については年々減少しており、歯止めがかからない状態が続いている。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	17,052	31,169	12,010	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	16,900	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	17,052	14,269	12,010	
人件費	18,694	18,126	-		
フルコスト	35,746	49,295	-		

施策の概要

030401	家庭環境の充実	親子で参加できるものづくりや子育てに関する講座を開催するとともに、青少年健全育成協議会、PTAや学校などと積極的に連携し、「家庭の日」などを通じて、親子の絆が深まるような環境づくりに努めます。
030402	家庭・学校・地域の連携強化	それぞれの地域が特色を活かしながら、地域ぐるみで子育てができるよう、家庭、学校、地域の連携を強化し、それぞれの行事に協働して取り組むとともに、「ココロねっこ運動」を推進します。また、青少年の健全育成、非行・事故防止についての広報啓発キャラバンを地域と協働して実施するとともに、万引きや自転車盗難等の犯罪の未然防止にも努めます。
030403	相談体制の強化	青少年の健全育成に関する相談業務について、少年センター、民生委員児童委員協議会連合会、地域子育て支援センター等が情報共有などの連携を密に行い、相談機能の強化を図ります。
030404	青少年の団体活動や体験活動の充実	団体活動を通じて社会の一員としての自覚を高めるとともに、仲間づくりを促進するため、各種サークルの育成及び活動を支援します。また、実体験の中で豊かな人間性や自立心を培うため、野外での体験型子ども教室や、子ども科学館での実験教室などを充実します。その他、各団体や地域における指導者の育成・確保に努めます。
030405	子ども会活動の活性化	子ども会の活動を、安全で楽しく、魅力あるものにするため、子ども会育成連合会と連携し、保護者や子どもに対する研修会を実施するとともに、活動内容の広報や加入促進のためのPR活動を行います。また、各子ども会が情報交換できる場を設け、事業内容や課題等の共有を促進しますに努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>近年、スマートフォンの普及により、SNS等に起因する青少年の犯罪被害が年々増加している。本市では大きな事件は起きていないが、児童生徒のスマートフォン所持率は増加している。SNS等に起因する青少年の事件・事故の未然防止は喫緊の課題であり、SNS等の利用について、児童生徒への指導及び保護者への啓発を図る必要がある。また、メディアやゲームへの依存傾向の児童生徒が増加傾向にあるため、節度のある利用について指導を行う必要がある。</p> <p>また、本市は自転車関連の交通事故や盗難が県内で最も多い。特に中・高生の自転車運転マナーが良くないとの意見が多くあるため、引き続き「自転車マナーアップ運動」等によるマナー向上啓発活動を実施するとともに、市内の各中学校・高校との連携により、交通事故等の未然防止策について協議・検討が必要である。</p> <p>子ども会の加入率については、加入率向上対策協議会を立ち上げ協議している所であるが、結論を出すに到っていないため早期に方向性を決定していく必要がある。</p>
-------------------------	---

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>SNS等の利用に起因する青少年の事件・事故の未然防止のため、少年センターから小中学校や高校にメディア安全指導員を講師として派遣し、指導を継続していく。</p> <p>中学生・高校生の自転車盗難防止や乗車マナー向上については、生徒指導担当者や警察との連携を密にし、二重ロックの推進や一時停止の順守、並列走行の禁止などの指導及び啓発活動を行っていく。</p> <p>子ども会の加入率については、加入率向上対策協議会で集約された意見を基に関係団体が連携して子ども会の活性化に繋げていく。</p>
---	---

令和4年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	R4年度見込		対象・事業概要など
		事業費 (千円)		
1				
2				
3				
4				
5				
			0	